

2020 年度実施概要

学校名

長野県松本市立田川小学校

採択活動名

川とともに生きる

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 田川で生き物採集	3	総合
2. 川とともに生きる	4	総合・社会
3. 海洋プラスチック学習	5	総合

取り組みの概要

- ・自分たちが暮らす地域で、人々は昔から川とともに生きてきた。水を使い、水を利用し、水辺に棲む生き物を取ってくらしていた。人々にとって、地域の川は生活に欠かすことのできない存在であり、大切にしてきたことを学ぶ。
- ・学習を通して、川を知り、生活と川との関連に気付き、水・川・海のつながりを学ぶことで、地域の川と、そこにつながる地球環境を大切にしていこうとする気持ちを育み、将来大人になってからも大切に受け継いでいこうとする子どもを育てる。
- ・マイクロプラスチックによる海洋汚染の影響が人間にもあるという問題を知り、問題解決のためには何ができるかを考え実践する。

1. 田川で生き物採集

- ・田川にすむ生き物を採集することを通して、田川が自然豊かなきれいな川であることを知る。

2. 川とともに生きる

- ・自分たちの生活用水は、川の水を利用していることを知る。
- ・自分たちが生活に利用した水は、きれいにして再び川に戻していることを知る。
- ・雨水が川となりやがて海に流れる。海などから蒸発した水蒸気が再び雨となる。このように水が循環していることを知る。
- ・田川や犀川では、かつて船を使って運輸に利用していたことを知る。
- ・ラフティングボートで川下りを体験することを通して、観光や趣味としての川の楽しみを知る。

3. 海洋プラスチック学習

- ・川の学習を行ってきた中で、川にゴミがあることに気づく。
- ・川にあるゴミはどうなるのか、講師の先生を招いて学習する。
- ・海洋プラスチック問題について、講師の先生を招いて学習する。
- ・田川や奈良井川にゴミ調査に行く。
- ・川に捨てられたごみをどうするか考える。

活動中の写真

1 家庭から出されたプラスチックごみにはどんなものがあるのだろう



2 海洋プラスチックは全世界の問題



3 海洋プラスチック問題を学習しよう



4 身近な川 田川にもゴミはあるのだろうか。

